

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年10月16日

【四半期会計期間】 第30期第2四半期(自 平成29年6月1日 至 平成29年8月31日)

【会社名】 株式会社ワンダーコーポレーション

【英訳名】 WonderCorporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 高田 修

【本店の所在の場所】 茨城県つくば市西大橋599番地1

【電話番号】 029(853)1313 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 宮本 正明

【最寄りの連絡場所】 茨城県つくば市西大橋599番地1

【電話番号】 029(853)1313 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 宮本 正明

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第29期 第2四半期 連結累計期間	第30期 第2四半期 連結累計期間	第29期
会計期間	自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日	自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日	自 平成28年3月1日 至 平成29年2月28日
売上高 (千円)	36,426,477	35,767,041	74,196,034
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	252,595	198,855	278,758
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期(当 期)純損失 ( ) (千円)	468,367	51,712	1,124,820
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	423,401	128,092	1,058,187
純資産額 (千円)	10,690,262	10,126,882	10,055,036
総資産額 (千円)	36,710,430	36,290,779	35,643,004
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期(当期)純損失金額 ( ) (円)	83.96	9.27	201.65
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	28.0	26.7	27.0
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	47,389	2,538,776	338,891
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	119,372	201,979	12,027
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	362,224	737,620	370,618
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,255,254	4,986,120	3,386,944

回次	第29期 第2四半期 連結会計期間	第30期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成28年6月1日 至 平成28年8月31日	自 平成29年6月1日 至 平成29年8月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 ( ) (円)	79.77	1.59

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。また主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策による企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調にあるものの、依然として個人消費は力強さに欠け、また、米国の政策運営や近隣諸国の地政学リスクの高まりなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、WonderG00事業におきましては、新型ゲーム機や大型タイトルの発売によりゲーム部門の販売が好調に推移し、同事業の収益を牽引する結果となりました。一方でエンタメ部門の売上縮小傾向を受けて、各業務改善プロジェクトのうち経費削減につながるものやQSC改善などの取り組みを進めてまいりました。今後も各店の収益力の向上を図るべく様々なアクションを遂行してまいります。

新星堂事業におきましては、一部の大型アーティストによる映像ソフトの販売が寄与したものの、第2四半期におけるリリースタイトルの不足により、厳しい結果となりました。一方で音楽イベントや人気アーティスト関連の委託販売などを請負い、店舗や商業施設等を利用したイベント事業を拡大いたしました。今後も音楽映像に関わらずあらゆるライフスタイルを積極的に提案し続けてまいります。

WonderREX事業におきましては、4月に移転増床した「WonderREX野田桜の里店」が好調に推移し、収益改善に寄与いたしました。今後継続的に事業を成長させるため、社内人材育成を目的としたREX大学を組織化し、商品査定や接客訓練などを行うことで人材の育成と確保を実施してまいりました。さらに、従来の店舗買取だけでなく、Web買取や出張買取を強化し、事業拡大に必要な在庫買取の取組みに注力いたしました。

TSUTAYA事業におきましては、主力である映像・音楽レンタル部門が、スマートフォン・タブレットの普及によるインターネット動画配信サービスの台頭により厳しい状況が続いております。これに対し、独自で展開している有料会員サービスの拡充を図り、安定的な収益確保を進めてまいりました。

また新規事業として、今期よりフィットネス事業に参入し、既存店(WonderG00土浦店)からの業態転換により「TetraFit土浦店」を7月に新規出店いたしました。これまで当社が提供してきたエンターテインメントのノウハウを活かし、独自のプログラムにより短時間で効果的にトレーニングできるサービスを提供しております。

当社グループにおける当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、WonderG00事業78店舗(内、FC8店舗)、WonderREX事業24店舗(内、FC2店舗)、TSUTAYA事業88店舗、新星堂事業105店舗、合計295店舗となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は35,767百万円(前年同期比1.8%減)、営業利益127百万円(前年同期は334百万円の営業損失)、経常利益198百万円(前年同期は252百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益51百万円(前年同期は468百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

なお、セグメントの業績は、WonderG00事業の売上高は18,594百万円(前年同期比1.8%減)、営業利益は286百万円(前年同期は6百万円の営業利益)、WonderREX事業の売上高は3,866百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益は25百万円(前年同期は137百万円の営業損失)、TSUTAYA事業の売上高は7,412百万円(前年同期比2.7%減)、営業利益65百万円(前年同期比40.4%減)、新星堂事業の売上高は5,766百万円(前年同期比7.2%減)、営業損失226百万円(前年同期は316百万円の営業損失)、その他事業の売上高は259百万円(前年同期比26.7%増)、営業損失は21百万円(前年同期は5百万円の営業利益)となりました。

## (2) 財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、22,343百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,038百万円増加いたしました。これは主に、商品が515百万円減少したものの、現金及び預金が1,603百万円増加したことによるものです。

### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、13,947百万円となり、前連結会計年度末に比べ391百万円減少いたしました。これは主に、無形固定資産が68百万円増加したものの、有形固定資産が334百万円、投資その他の資産が124百万円減少したことによるものです。

### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、18,884百万円となり、前連結会計年度末に比べ765百万円増加いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が265百万円減少したものの、買掛金が917百万円増加したことによるものです。

### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、7,279百万円となり、前連結会計年度末に比べ189百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が211百万円減少したことによるものです。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、10,126百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益51百万円と、剰余金の配当55百万円の支払い、非支配株主持分24百万円の増加によるものです。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,599百万円増加し、4,986百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に、売上債権の増加から74百万円資金が減少したものの、減価償却費650百万円、仕入債務の増加917百万円、たな卸資産の減少515百万円により資金が増加したため、2,538百万円の資金の増加(前年同四半期は47百万円の資金の増加)となりました。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に、敷金及び保証金の回収により151百万円資金が増加したものの、敷金及び保証金の差入による支出が98百万円、有形固定資産の取得で216百万円資金が減少したため、201百万円の資金の減少(前年同四半期は119百万円の資金の減少)となりました。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に、長期借入による収入により586百万円資金が増加したものの、リース債務の返済による支出308百万円、長期借入金の返済で1,063百万円資金が減少したため737百万円の減少(前年同四半期は362百万円の資金の減少)となりました。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,472,000
計	12,472,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年10月16日)	上場金融商品取引所名又は登 録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	5,579,184	5,579,184	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株 であります。
計	5,579,184	5,579,184		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年6月1日～ 平成29年8月31日		5,579,184		2,358,900		2,360,793

## (6) 【大株主の状況】

平成29年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社カスミ	茨城県つくば市西大橋599番地1	2,404,200	43.1
株式会社Kパートナーズ	東京都渋谷区恵比寿4丁目23番6号	1,102,200	19.8
株式会社TSUTAYA	東京都渋谷区南平台町16-17	307,053	5.5
日下孝明	東京都渋谷区	288,700	5.2
ワンダーコーポレーション従業員 持株会	茨城県つくば市西大橋599番地1	102,086	1.8
ワンスア라운드株式会社	東京都世田谷区奥沢3丁目47番17号	37,500	0.7
加藤修一	茨城県水戸市	27,900	0.5
深作敏也	茨城県鉾田市	20,700	0.4
船山益宏	東京都品川区	20,200	0.4
肥田千代子	奈良県奈良市	18,500	0.3
計		4,329,039	77.6

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成29年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,524,000	55,240	
単元未満株式	普通株式 53,084		
発行済株式総数	5,579,184		
総株主の議決権		55,240	

## 【自己株式等】

平成29年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社ワンダーコーポ レーション	茨城県つくば市西大橋 599番地1	2,100		2,100	0.0
計		2,100		2,100	0.0

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成29年6月1日から平成29年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年3月1日から平成29年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,572,292	5,176,275
売掛金	1,217,465	1,291,708
商品	14,591,793	14,076,327
貯蔵品	18,813	18,863
未収入金	673,909	576,512
繰延税金資産	323,160	319,118
その他	911,910	890,222
貸倒引当金	4,832	5,608
流動資産合計	21,304,513	22,343,422
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,224,817	4,110,373
その他(純額)	3,462,750	3,242,365
有形固定資産合計	7,687,567	7,352,738
無形固定資産		
のれん	281,499	242,373
その他	347,684	455,192
無形固定資産合計	629,184	697,565
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,356,132	5,282,121
その他	755,520	702,920
貸倒引当金	89,914	87,987
投資その他の資産合計	6,021,738	5,897,053
固定資産合計	14,338,490	13,947,357
資産合計	35,643,004	36,290,779

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,199,914	5,117,850
短期借入金	8,600,000	8,507,840
1年内返済予定の長期借入金	1,967,679	1,702,266
未払法人税等	184,058	224,983
賞与引当金	165,998	153,119
ポイント引当金	533,872	436,429
その他	2,467,323	2,741,607
流動負債合計	18,118,847	18,884,096
固定負債		
社債	-	200,000
長期借入金	3,623,943	3,412,047
退職給付に係る負債	583,777	541,609
長期預り保証金	466,472	461,642
資産除去債務	831,663	833,381
繰延税金負債	1,125	337
その他	1,962,138	1,830,782
固定負債合計	7,469,120	7,279,800
負債合計	25,587,967	26,163,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,358,900	2,358,900
資本剰余金	2,472,235	2,472,235
利益剰余金	4,794,457	4,790,394
自己株式	1,367	1,838
株主資本合計	9,624,226	9,619,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	679	481
退職給付に係る調整累計額	9,588	62,102
その他の包括利益累計額合計	10,267	62,583
非支配株主持分	420,542	444,606
純資産合計	10,055,036	10,126,882
負債純資産合計	35,643,004	36,290,779

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	36,426,477	35,767,041
売上原価	24,000,144	23,583,866
売上総利益	12,426,332	12,183,175
販売費及び一般管理費	12,760,731	12,056,147
営業利益又は営業損失( )	334,399	127,027
営業外収益		
受取利息	17,714	15,840
受取手数料	107,801	87,550
その他	41,672	46,582
営業外収益合計	167,188	149,974
営業外費用		
支払利息	76,366	69,046
その他	9,017	9,100
営業外費用合計	85,384	78,146
経常利益又は経常損失( )	252,595	198,855
特別利益		
固定資産売却益	2,556	-
特別利益合計	2,556	-
特別損失		
固定資産売却損	135	-
固定資産除却損	7,067	2,960
減損損失	12,969	8,860
特別損失合計	20,172	11,821
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	270,210	187,033
法人税、住民税及び事業税	151,235	92,938
法人税等調整額	10,861	18,229
法人税等合計	162,097	111,167
四半期純利益又は四半期純損失( )	432,308	75,865
非支配株主に帰属する四半期純利益	36,059	24,153
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )	468,367	51,712

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失( )	432,308	75,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	286
退職給付に係る調整額	8,884	52,513
その他の包括利益合計	8,907	52,226
四半期包括利益	423,401	128,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	459,362	104,028
非支配株主に係る四半期包括利益	35,960	24,064

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	270,210	187,033
減価償却費	668,257	650,792
減損損失	12,969	8,860
のれん償却額	72,855	57,470
賞与引当金の増減額( は減少)	18,113	12,879
退職給付に係る負債の増減額( は減少)	13,633	10,345
ポイント引当金の増減額( は減少)	86,805	97,443
受取利息及び受取配当金	18,028	16,105
支払利息	76,366	69,046
固定資産売却損益( は益)	2,421	-
固定資産除却損	7,067	2,960
売上債権の増減額( は増加)	35,405	74,243
たな卸資産の増減額( は増加)	228,170	515,414
仕入債務の増減額( は減少)	207,628	917,935
その他	213,727	476,647
小計	305,130	2,695,836
利息及び配当金の受取額	599	2,644
利息の支払額	73,383	68,853
法人税等の支払額	184,956	90,852
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,389	2,538,776
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	4,800	4,807
有形固定資産の取得による支出	189,497	216,569
有形固定資産の売却による収入	10,043	-
無形固定資産の取得による支出	5,960	4,743
投資有価証券の売却による収入	10,071	555
貸付金の回収による収入	990	990
敷金及び保証金の差入による支出	15,457	98,761
敷金及び保証金の回収による収入	107,265	151,795
その他	32,027	30,438
投資活動によるキャッシュ・フロー	119,372	201,979

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	585,650	92,160
長期借入れによる収入	500,000	586,000
長期借入金の返済による支出	1,010,221	1,063,309
社債の発行による収入	-	200,000
自己株式の取得による支出	912	470
リース債務の返済による支出	295,251	308,729
配当金の支払額	138,989	58,950
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	2,500	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	362,224	737,620
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	434,207	1,599,176
現金及び現金同等物の期首残高	2,689,462	3,386,944
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,255,254	4,986,120

【注記事項】

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
従業員給料及び賞与	4,775,033千円	4,625,676千円
賞与引当金繰入額	210,314千円	152,345千円
退職給付費用	111,866千円	98,932千円
地代家賃	2,680,100千円	2,524,782千円

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
現金及び預金	2,435,794千円	5,176,275千円
預入期間が3か月を超える定期預金	180,540千円	190,155千円
現金及び現金同等物	2,255,254千円	4,986,120千円

## (株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年4月7日 取締役会	普通株式	139,479	25	平成28年2月29日	平成28年5月11日	利益剰余金

## 2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年4月7日 取締役会	普通株式	55,775	10	平成29年2月28日	平成29年5月10日	利益剰余金

## 2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	WonderG00	WonderREX	TSUTAYA	新星堂	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	18,839,895	3,597,000	7,601,490	6,204,768	36,243,154	183,322	36,426,477	-	36,426,477
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	92,280	-	15,581	9,410	117,272	21,129	138,402	138,402	-
計	18,932,176	3,597,000	7,617,071	6,214,178	36,360,427	204,452	36,564,879	138,402	36,426,477
セグメント利益 又は損失( )	6,429	137,733	110,087	316,664	337,881	5,720	332,160	2,238	334,399

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2. セグメント損失の調整額 2,238千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「WonderG00事業」において3,357千円、「WonderREX事業」において9,612千円、当第2四半期連結累計期間に減損損失を計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	WonderG00	WonderREX	TSUTAYA	新星堂	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	18,474,478	3,866,697	7,406,566	5,766,513	35,514,256	252,784	35,767,041	-	35,767,041
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	120,247	-	6,009	-	126,256	6,257	132,513	132,513	-
計	18,594,725	3,866,697	7,412,575	5,766,513	35,640,512	259,041	35,899,554	132,513	35,767,041
セグメント利益 又は損失( )	286,214	25,944	65,650	226,029	151,779	21,453	130,326	3,297	127,027

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 3,297千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「WonderG00事業」において8,860千円、当第2四半期連結累計期間に減損損失を計上しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( )	83円96銭	9円27銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は 親会社株主に帰属する四半期純損失金額( ) (千円)	468,367	51,712
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 金額又は普通株式に係る親会社株主に帰属する四半 期純損失金額( ) (千円)	468,367	51,712
普通株式の期中平均株式数(株)	5,578,411	5,577,324

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年10月16日

株式会社 ワンダーコーポレーション  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	神 代	勲 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	菊 地	徹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ワンダーコーポレーションの平成29年3月1日から平成30年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成29年6月1日から平成29年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年3月1日から平成29年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ワンダーコーポレーション及び連結子会社の平成29年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。